

日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

代表者氏名 (ふりがな)	仲真紀子	所 属	北海道大学大学院文学研究科
研究集会等名称	法・矯正領域における心理実務家研修プログラム		
成 果 概 要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p style="margin-left: 2em;">会員 19名 (うち認定心理士 名) 非会員 3名 (うち認定心理士 名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <p><実施内容> 2010年10月-2011年2月にかけてメール等により「実務家研修」について議論を行い、2011年に以下の2回、「法・矯正領域における心理実務家研修プログラム」を実施することとした。このためにポスターを作成し、関係機関 (警察, 検察, 弁護士会等) に送付した (震災のため, 一部は4月以降に発送する)。ポスターを添付する。</p> <p><将来計画> (1) 5月28-29日に学習院大学で行われる認知心理学会に連結するかたちで開催する (ただし, 実施自体は独立である)。 講師: 巖島行雄教授 (日本大学) 日時: 5月27日 場所: 学習院大学文学部10階会議室 対象: 弁護士等の実務家 内容: 目撃証言の信用性に関する心理学鑑定 (仮題)</p> <p>(2) 9月15-17日に日本大学で行われる日本心理学会に連結するかたちで開催する (ただし, 実施自体は独立である)。 講師: Ray Bull 教授 (英国レスター大学) 日時: 9月18日 場所: 日本大学 対象: 弁護士等の実務家 内容: 被疑者取り調べにおける可視化の問題 (仮題)</p> <p>以上。</p>		